

記載例

里山整備利用地域活動計画書

地域の現状、里山整備利用推進協議会での
検討状況を踏まえて記載する。

1 地域の概要

区 分	現 況
(1) 地域名及び位置	〇〇村 〇〇地区
(2) 中心となる集落名	〇〇区
(3) 面積	〇〇h a
(4) 自然環境の状況	<p>〇〇地区は、〇〇村の東部に位置し、一級河川〇〇川が流れ、集落、田畑、果樹園、森林で形成されている。</p> <p>〇〇村の平均気温は〇℃であり、冷涼な高原の気候を有し、晴天率が高く、日照時間は年間 2,000 時間を超え、降水量は年間 900mm 前後となっている。</p> <p>また、〇〇地区には、桜の名所で有名な〇〇寺があり、春になると多くの観光客が訪れる。</p>
(5) 森林の現況	<p>〇〇地区の森林は温帯林に属し、集落東側に聳える〇〇山の麓、標高 600m から 800m に位置している。</p> <p>樹種は〇〇を中心に、□□や△△となっており、50 年生以上の森林が 70% を占めている。集落の周辺や財産区の森林は整備されてきたが、農地周辺の森林は所有形態が零細であり、放置されており、一部に野生鳥獣被害が見られる。</p>

2 地域の整備及び利用の方針等

区 分	内 容
整備及び利用の方針等	<p>(1) 森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落周辺は継続的に森林整備を行う。 ・農地周辺や道路沿線の荒廃した森林は造林事業の導入を検討していく ・集落や農地周辺の鳥獣被害防止柵の維持・管理を行う。 <p>(2) 利用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広葉樹の伐採木はきのこと原木・薪として活用する。また、道の駅での販売を検討する。 ・集落周辺や道路沿線の森林整備の跡地は花木等の植栽を検討し、景観の向上を図る

3 活動推進主体（里山整備利用推進協議会が設定されている場合は、当該協議会）

区 分	現 況
(1) 名称	〇〇里山整備利用推進協議会
(2) 構成員の区分及び人数	地域住民 〇人 構成団体 〇〇財産区、〇〇事業体
(3) 活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 〇里山整備利用計画の作成 〇安全技術研修会の開催 〇荒廃した里山の森林整備 <ul style="list-style-type: none"> ・集落周辺：協議会メンバーによる整備を実施 ・農地及び幹線道路周辺：〇〇事業体に依頼 〇伐採木を活用したキノコ原木、薪の生産 〇シイタケの原木栽培 〇伐採跡地への花木植栽 <ul style="list-style-type: none"> ・花木植栽計画の作成：植栽箇所及び花木の選定 ・花木植栽の実施（次年度以降実施） 〇展望ポイントへの遊歩道整備
(4) 過去の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 〇区有林の下草刈り、枝打ち、除伐作業 〇鳥獣被害防止柵の設置、維持・管理